

令和3年度第1回公共調達監視委員会（議事録）

1 開催日時

令和3年9月3日（金）10:00～11:40

2 公共調達監視委員

委員長 児玉 弘（佐賀大学准教授）

委員 津留 保生（公認会計士）

委員 大川 正二郎（弁護士）

3 議事録

【審議番号1：競争入札（総合評価落札方式）】

「令和3年度若年者地域連携事業」

（委員）過去の実績は評価しているのか。

（担当）採点表の4その他（1）で評価している。

（委員）評価は佐賀独自で行っているのか。

（担当）評価は佐賀局で行っているが、評価基準は全国統一である。

（委員）協議会は本事業を行うために組織された協議会なのか。構成はどうなっているのか。

（担当）本事業実施のための協議会である。構成は、労働局、佐賀県、佐賀大学等。

（委員）イベントの実施に問題はなかったのか。オンラインの実施なのか。

（担当）基本対面方式で行っている。今年度は2回実施した。8月の開催時は、コロナ感染拡大や雨の影響が懸念されたが無事実施できた。

（委員）参加企業は何社くらいか。

（担当）本来は50社予定であったが、コロナ感染防止のため35社に縮減した。

（委員）参加企業の選定基準はどのようなものか。

（担当）残業時間、年休取得率等若者が重視する指標を優先している。

（委員）数値目標が達成できないとどうなるのか。

（担当）特に契約に影響することはない。

【審議番号2：随意契約】

「令和3年度障害者就業・生活支援センター事業（雇用安定等事業）委託」

（委員）事業受託者は佐賀県知事の推薦が必要となるが、推薦された場合は必ず契約を締結するのか。

（担当）契約しないことも可能であるが、過去に推薦されて契約しなかったケースはない。

（委員）契約金額が、昨年度契約していた法人の金額と比較しかなり少額となっているがなぜか。

（担当）支援員の配置人数が昨年度の4名から今年度は2名に減少したことによるもの。

（委員）事業運営に影響はないか。

（担当）成果は出している。

（委員）2名で成果が出せるのであれば、そもそも2名でよいのではないか。

（担当）担当地域の一部には十分手が回っていない状況である。

（委員）今年度の支援員の増加はできないのか。

- (担当) 今年度の委託費の増加はないため、2名のままである。
- (委員) 支援員が途中で減ることはあるのか。
- (担当) あり得る。委託費は事業終了後必要経費を確認・精算し、支払を行う。
- (委員) 数値目標は、絶対ではないのか。
- (担当) 絶対ではないが、目標達成できるよう指導を行っている。

【審議番号3：随意契約】

「令和3年度医療労務管理支援事業委託」

- (委員) この事業の相談者は個人経営の医療機関なのか。
- (担当) 勤務医や看護師等の働き方改革の推進が本事業の主目的となることから、勤務医等がいる比較的大きな医療機関になる。
- (委員) 県に対し医師会以外の団体の推薦について、労働局から意見することはできるのか。
- (担当) できない。
- (委員) 支援センターの対象は、医療機関なのか、勤務医等の個人なのか。医師会が受託すると、個々人が相談しにくいのではないのか。
- (担当) 医療機関の労務担当者になる。支援センターの相談は、社会保険労務士が行っている。
- (委員) 相談件数はどのくらいか。
- (担当) 実施計画書では月4回程度となっているが、コロナの影響もあり月1件程度となっている。
- (委員) こういう情勢の時こそ、活用される事業ではないか。本来は、個人を支援するような他の事業が必要と思われる。

【審議番号4：随意契約】

「鳥栖公共職業安定所空調（吸収式冷温水機）修繕工事」

- (委員) 1社随意契約なのはなぜか。
- (担当) 全館空調が故障し、急ぎの修理が必要であったため、メーカーメンテナンスの専門業者と契約を行った。
- (委員) 1月に故障し、修理の契約が2月になったのはどうしてか。
- (担当) 1月の故障時、予算の事情等によりすぐには修理できなかったため、その後本省へ工事の追加予算の申請を行い、予算が確保できたことから、2月に契約を行った。
- (委員) そういう状況であっても、予定価格の作成はするのか。
- (担当) 作成する。

【審議番号5：競争入札】

「自動窓口受付システム一式の購入」

- (委員) 落札金額が他の業者と比較してかなり低額であるが。
- (担当) 純正品ではなく、部品を集めて構成しているため低額になっていると思われる。
- (委員) いつまで使用する予定か。
- (担当) 故障するまで使用予定であるが、初めて導入の機種でありどのくらい使用できるかはまだ不明な状態。保守契約を検討したが、業者が保守サービスをしていないと回答。
- (委員) 購入後の保証はどうなっているか。
- (担当) 1年間は無料保証期間。6年程度以上の部品の保有を仕様で明記している。
- (委員) 以前も他県の業者の参入は可能であったか。
- (担当) 可能である。

(委員) 今回契約業者の他県での落札はあるのか。

(担当) 長崎局であり。

(委員) 落札金額は公表しているか。

(担当) 公表している。

【審議番号6：競争入札】

「令和3年度佐賀労働局管下5施設で使用する電気の供給」

(委員) 電気の供給という事故があっては困る案件でも、最低価格による入札でなければいけないのか。

(担当) 電力も自由化されており、競争入札となる。

(委員) 九州電力以外の事業所が落札した場合、問題時の対応はどうか。

(担当) 過去において九州電力以外の事業所が落札した際も、事故等問題は発生していないが仕様書で障害発生時の対応を記載している。

(委員) 予定価格はどのように作成しているか。

(担当) 過去3年度の平均値及び九州電力の一般料金をもとに作成している。

【審議番号7：競争入札】

「令和3年度事務・衛生用消耗品の購入（単価契約）」

(委員) 昨年度と同じ業者が落札しているが、ずっと同じ業者が落札しているのか。

(担当) 昨年度は同事業所であったが、それ以前は他の業者が変わりつつ落札していた。

(委員) 購入数量が多いが、1年間で使い切るのか。

(委員) 予定数量は見込みであり、実際は4半期ごとに必要な数量を発注する。

【審議番号8：随意契約】

「令和3年度唐津公共職業安定所庁舎敷地賃貸借」

(委員) 価格はどのように決定しているのか。

(担当) 地価をもとに3年に一度見直しをしている。地価の変動がなかったため、前年度と同額で契約している。

(委員) 他の契約と異なり、契約を断ることができないため足元を見られるのではないか。

(担当) 国の財政が厳しいことを伝え、価格の相談をしている。

(委員) 近隣の賃貸借料の調査はしているか。

(担当) していない。

(委員) 価格交渉に使えるかどうかは別として、今後は、近隣の賃貸借料などの調査自体は行ったほうが良い。

個人との土地の賃貸借契約は他にあるのか。

(担当) 庁舎に係る土地の賃貸借は、他にはない。